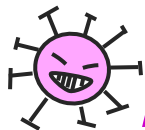


# 感染症に気をつけよう!!

2023年9月号

横浜市衛生研究所  
感染症情報センター 9月5日発行



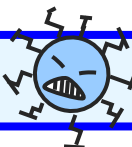
## 横浜市内の感染症流行状況



感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
梅毒**	発生	横ばい	20~50代を中心として、報告数の多い状況が続いています。【 <a href="#">政府広報 動画</a> 】【 <a href="#">無料 匿名検査</a> 】
腸管出血性大腸菌感染症**	発生	横ばい	患者数が多くなっています。家族内の感染も報告されています。【 <a href="#">19.9号</a> 】【 <a href="#">ちらし</a> 】
新型コロナウイルス感染症*	流行	増加	5月8日以降、患者数の報告は <a href="#">定点報告</a> に変わりました。幅広い年齢層で増えています。

\* 国立感染症研究所    \*\* 厚生労働省

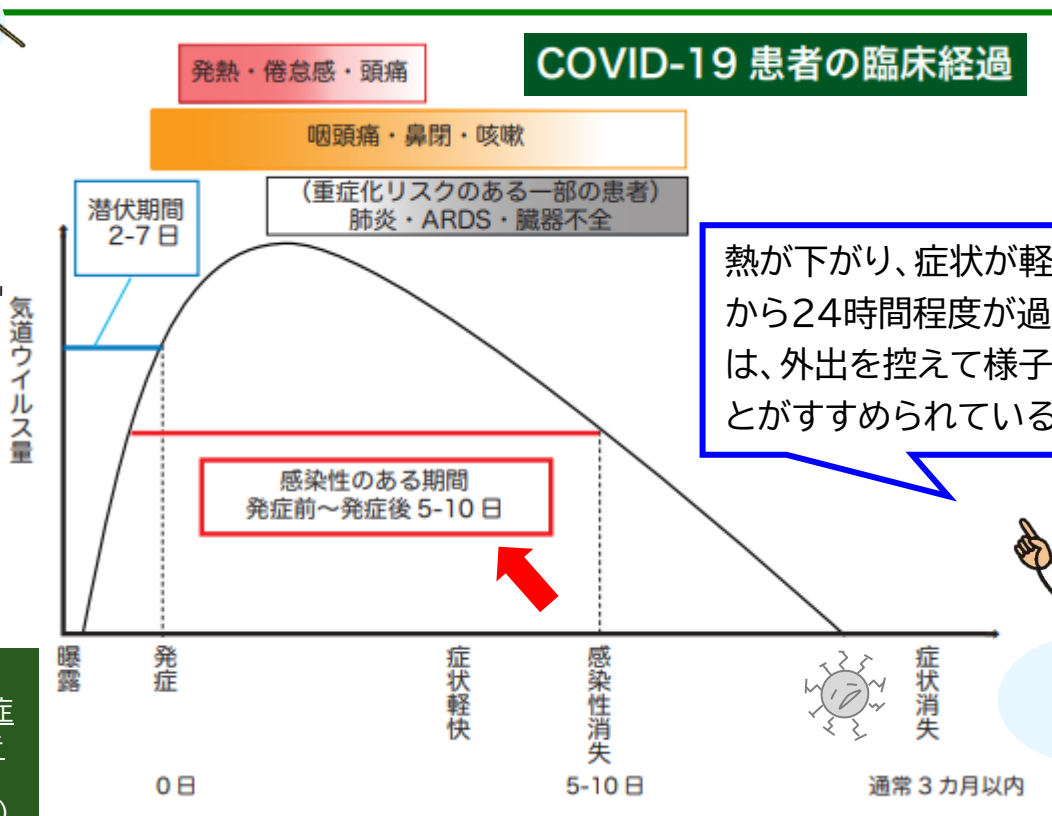
### 今、気をつけたい感染症



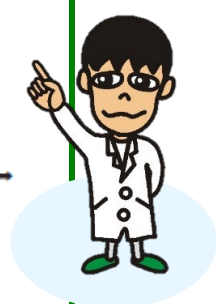
### 新型コロナウイルス感染症



かかってしまったら、発症後5日間は他の人に感染させるリスクが高いから、発症日を0日目として5日間は外出を控えた方が良いんだよね。\*\*  
もし、5日目になっても症状が続いていた場合は、どうするの？



熱が下がり、症状が軽くなってから24時間程度が過ぎるまでは、外出を控えて様子を見ることがすすめられているよ。



新型コロナウイルス感染症診療の手引き 第10.0版 図2-1 (引用)